



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)10月25日号 No.1708

目次

■ 現地有識者に聞くロシア経済の現状	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2016年11月号のお知らせ	11
■ モスクワほっとニュース	12
24時間、朝食を出す店: Cook'kareku / 12	
■ エトセトラ	13
産業総合展覧会「イノプロム2017」説明会 / 13	
■ トピックス	13
INPEXがカザフ・カシャガン油田からの原油出荷開始 / 13	
NEDOがウズベクでコジェネシステムの導入実証事業実施へ / 13	
MHPS、ウズベク向けGTCC発電プラントを受注 / 14	
JBICが露ズベルバンクに40億円の単独投資へ / 14	
露の製薬大手へ三井物産が出資検討 / 14	
滝澤鉄工所、露での部品調達拡大へ / 15	
清水建設とタシケント市との覚書締結 / 15	

現地有識者に聞くロシア経済の現状

はじめに

ロシアNIS貿易会では、2016年9月中旬に、油価下落やルーブル安の影響を受けて低迷するロシア経済の現状について、現地の経済・社会分野の専門家にヒアリング調査を実施した。これらの調査結果については年度末に報告書を作成して紹介する予定であるが、昨今のロシアの社会・経済情勢は刻一刻と状況が変化しているため、一足先にその一部をお知らせしたいと思う。

1週間で10件以上の面談を行ったが、その中で、ロシアの有名な社会・経済の専門家であり、「クドリン基金」のメンバーでもあるエヴゲニー・ゴントマヘル氏、ロシアの政府系シンクタンクであるガイダル研究所の専門家の方々、そして、ロシア有数の石油・ガス分野の専門家であるセルゲイ・サヴシキン氏の見解を紹介する。

なお、本稿では有識者の話を紹介することが目的であるため、彼らの話に出てくる数字や統計データはそのまま引用しており、脚注などによる裏づけは行っていないことをあらかじめご了承ください。